

第228回「地域の会」定例会資料〔前回定例会以降の動き〕

【不適合関係】

- ・ 5月23日 7号機タービン建屋熱交換器エリア（非管理区域）におけるけが人の発生について（公表区分：Ⅲ） [P. 3]
- ・ 5月25日 核物質防護に関する不適合情報（公表区分：Ⅱ） [P. 5]

【発電所に係る情報】

- ・ 5月12日 （運転保守状況）6号機非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（公表区分：Ⅲ） [P. 8]
- ・ 5月16日 福島第二原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所の「原子力事業者防災業務計画」の修正ならびに届出について [P. 9]
- ・ 5月18日 当社原子力発電所における原子力規制庁による2021年度第4四半期実施計画検査および原子力規制検査の結果について [P. 15]
- ・ 5月24日 「核セキュリティ専門家評価委員会」第4回会合開催について [P. 18]
- ・ 5月25日 柏崎刈羽原子力発電所における取組み [P. 19]
- ・ 5月30日 柏崎刈羽原子力発電所2021年度「防災訓練実施結果報告書」の原子力規制委員会への提出について [P. 21]

*以下、新型コロナウイルス関係

- ・ 5月12日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 22]
- ・ 5月14日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 23]
- ・ 5月15日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 24]
- ・ 5月16日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 25]
- ・ 5月20日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 26]
- ・ 5月21日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 27]
- ・ 5月26日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 28]
- ・ 5月30日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 29]

【その他】

- ・ 5月24日 人事通知 [P. 30]
- ・ 5月31日 組織改編について [P. 31]
- ・ 5月31日 人事通知 [P. 33]
- ・ 6月1日 改善事項について（6月報告） [P. 34]

【福島を進捗状況に関する主な情報】

- ・ 5月26日 福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ [別紙]

<参考>

当社原子力発電所の公表基準（平成15年11月策定）における不適合事象の公表区分について

区分Ⅰ 法律に基づく報告事象等の重要な事象

区分Ⅱ 運転保守管理上重要な事象

区分Ⅲ 運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象

その他 上記以外の不適合事象

以 上

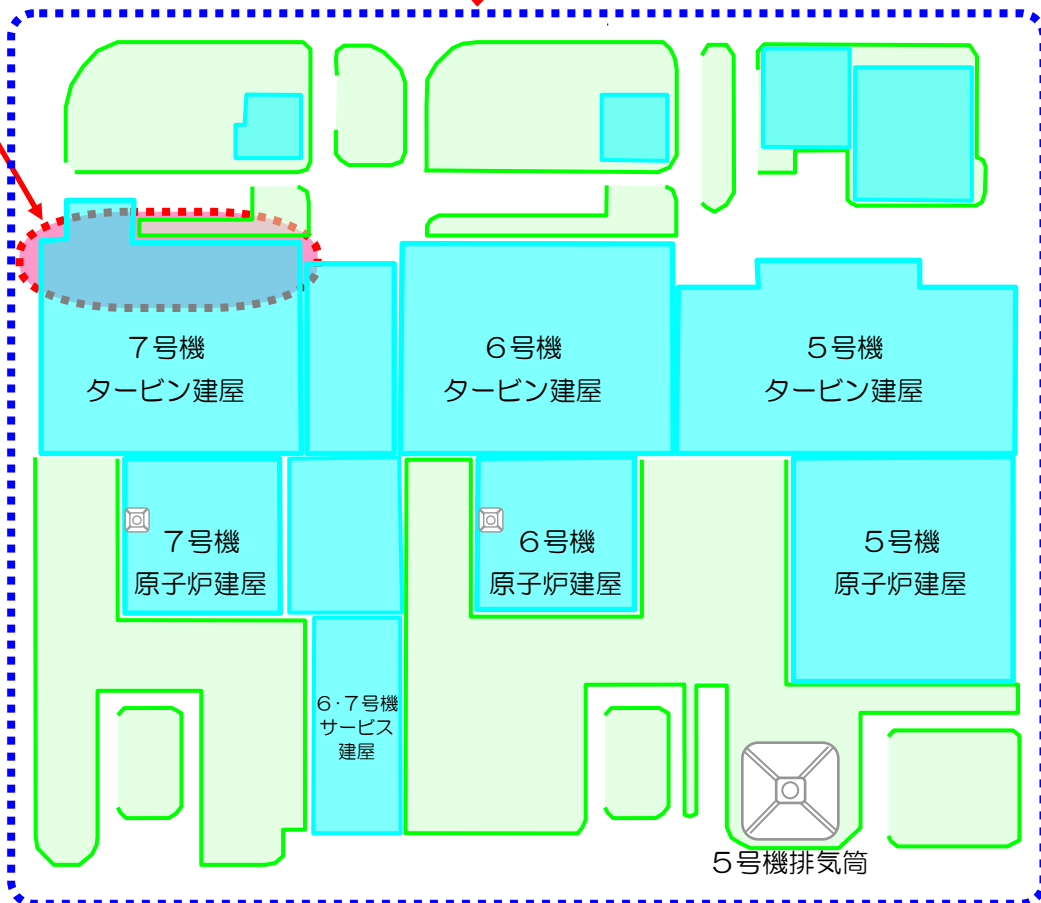
区分：Ⅲ

号機	7号機	
件名	タービン建屋熱交換器エリア（非管理区域）におけるけが人の発生について	
不適合の概要	<p>2022年5月13日、7号機タービン建屋熱交換器エリア（非管理区域）にて足場材運搬作業に従事していた協力企業作業員1名が、5月14日に右大腿部に違和感を覚えました。本人は筋肉痛によるものと判断し、その後も通常通り業務にあたっていました。症状が悪化したことから、5月21日に病院で診察を受けたところ、「右大腿肉離れ」と診断されました。</p> <p>なお、本人は自力歩行が可能で、身体汚染はありません。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>病院での診察の結果、「右大腿肉離れ」と診断され、負傷部への湿布の貼付処置をしております。</p> <p>今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。</p>	

発生場所概略図



発生場所
(熱交換器エリア)



柏崎刈羽原子力発電所 大湊側

核物質防護に関する不適合情報

2022年5月24日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	立入制限区域の入口である発電所正門において、見張人が、有効期限切れの入構証を提示した当社社員の入構を制止したが、その後の調査から、過去に複数回、有効期限切れの状態の入構していたことを確認した。 原因としては、当該社員の有効期限の確認不足に加えて、ピストンバス乗員に対する有効期限の一括確認において、運用上、見張人が見落としやすい状態にあったことを特定した。 対策として、入構証の有効期限の管理徹底を改めて周知するとともに、ピストンバス乗員に対する有効期限の一括確認運用を廃止し、一人ひとり個別に確認することとした。 また、今後も核物質防護に関わる設備全般の改良・更新を進め、見張人への負荷低減やパフォーマンス向上に向けた恒久的な対策を立案・実行していく。 (2022/5/25公表済み) https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/publication/pdf/2022/2022052501p.pdf	2022/5/11	

3. 公表区分Ⅲ 0件

4. 公表区分その他 0件

**柏崎刈羽原子力発電所における
当社社員による有効期限切れ入構証の使用について**

2022年5月25日

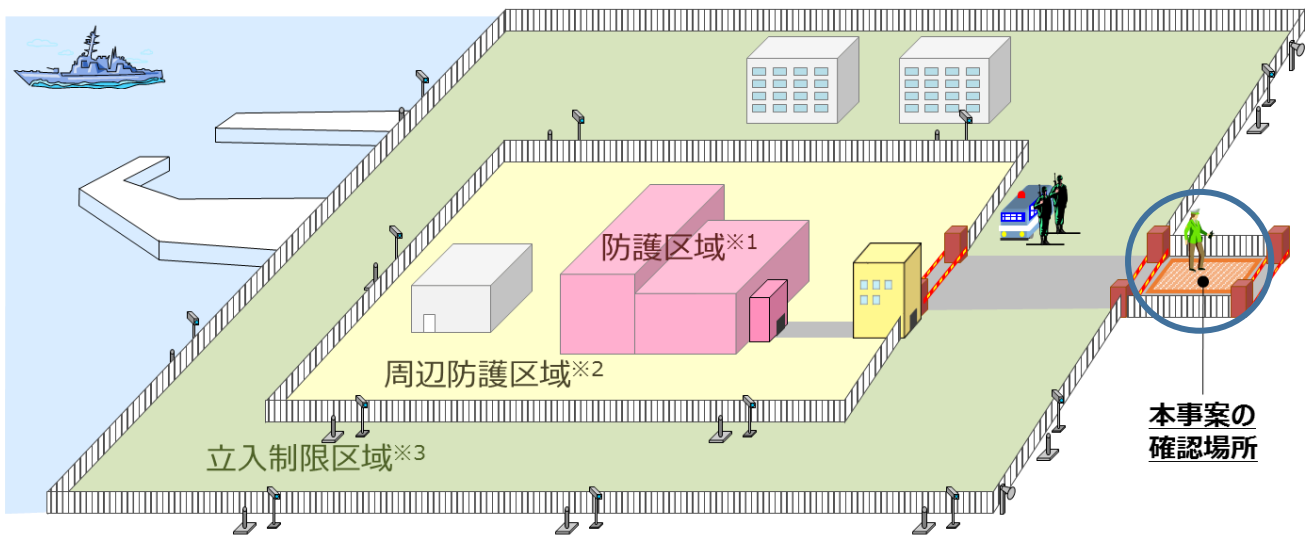
東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

- ・ 2022年5月11日、立入制限区域への入域ゲートである発電所正門において、ピストンバス[※]に乗車していた本社所属の当社社員（以下、「当該社員」）の入構証の有効期限切れを見張人が発見し、入構を阻止した。
- ・ 当該社員に聞き取りをしたところ、有効期限である同年4月30日以降に複数回入構したとの証言を受けたことから、入構履歴を確認した結果、5月に3回、有効期限切れの状態に気付かず入構していることを確認し、速やかに原子力規制庁へ報告した。
- ・ この事案を受けて、原因を調査した結果、当該社員の有効期限の確認不足に加えて、以下の運用上の問題を特定した。
 - ▶ 見張人は、正門においてハンディターミナル型読取装置（以下「ハンディ」）を利用し、車両に乗車した全ての入構者の人定確認と入構証の有効期限を確認している。
 - ▶ ただし、ピストンバスに乗車した入構者に対しては、渋滞による見張人のプレッシャー軽減の観点から、事前に構外駐車場にて見張人がハンディにより全員のデータを集約し、正門で別の見張人が転送されたデータをハンディにより一括確認する運用としていた。この一括確認におけるハンディ画面は一人ひとり個別に確認する画面に比べ、表示が小さく、正門の見張人が有効期限切れを見落としやすい状況にあった。
- ・ 対策として、ピストンバスの乗員に対する一括確認運用を廃止し、正門において一人ひとり個別にハンディに読み込んで有効期限を確認することとした。
- ・ なお、本事案に伴う手荷物検査等の手続きに問題はなく、施設等への妨害破壊行為もなかった。また、ピストンバス以外の車両については、これまでも入構証の有効期限確認をハンディにて一人ひとり個別に読み込んだ上で確認しており、問題はなかった。
- ・ なお、今後も核物質防護に関わる設備全般の改良・更新として「出入管理・監視システムの更新」や「人や車両照合の機械化」等を進めており、見張人への負荷の軽減やパフォーマンスの向上に向けた恒久的な対策を立案・実行してまいる。

※ピストンバス

発電所構内に入構する自家用車数を減らすことを目的に、朝の通勤時間帯に構外駐車場と発電所構内を往復する通勤用のバス。構外駐車場での乗車時、見張人による点検・確認を終えて正門に向かう。



- ※1 防護区域：特定核燃料物質を使用・貯蔵する設備が設置されている区域
- ※2 周辺防護区域：防護区域における特定核燃料物質の防護をより確実に行うため、防護区域の周辺に定める区域
- ※3 立入制限区域：周辺防護区域の周辺の人の出入りを制限する区域

図1. 核物質防護に係る区画イメージ

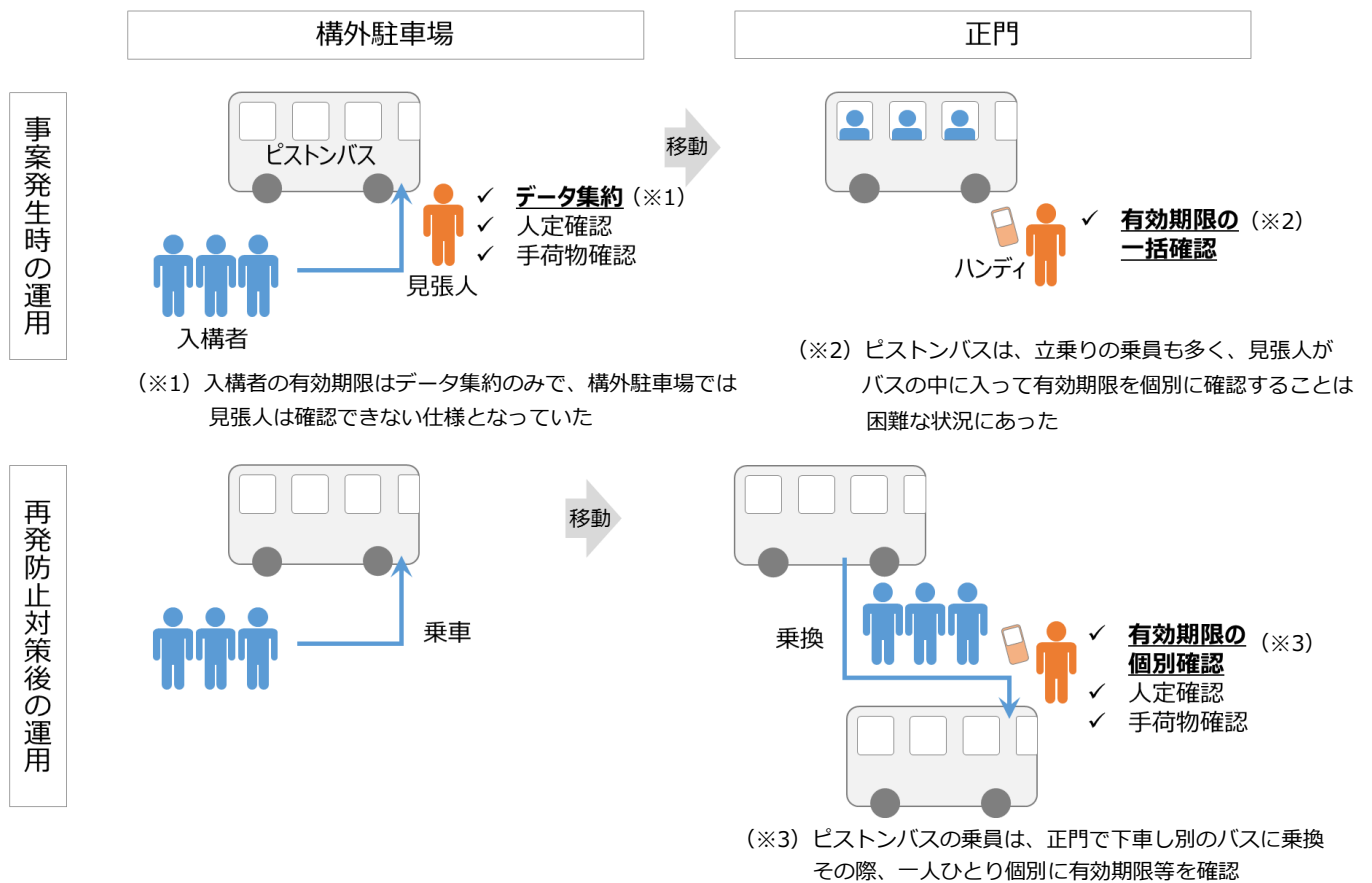


図2. ピストンバスの乗員に対する有効期限確認イメージ

以上

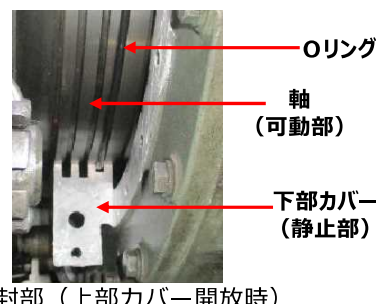
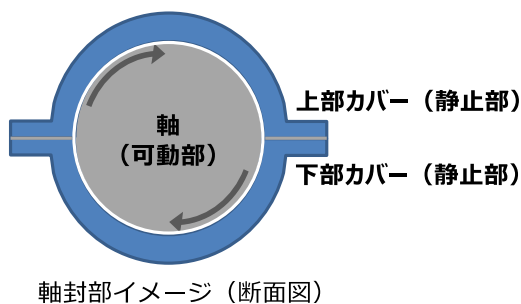
プレス公表（運転保守状況）

発生日	2022年3月18日		
号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）

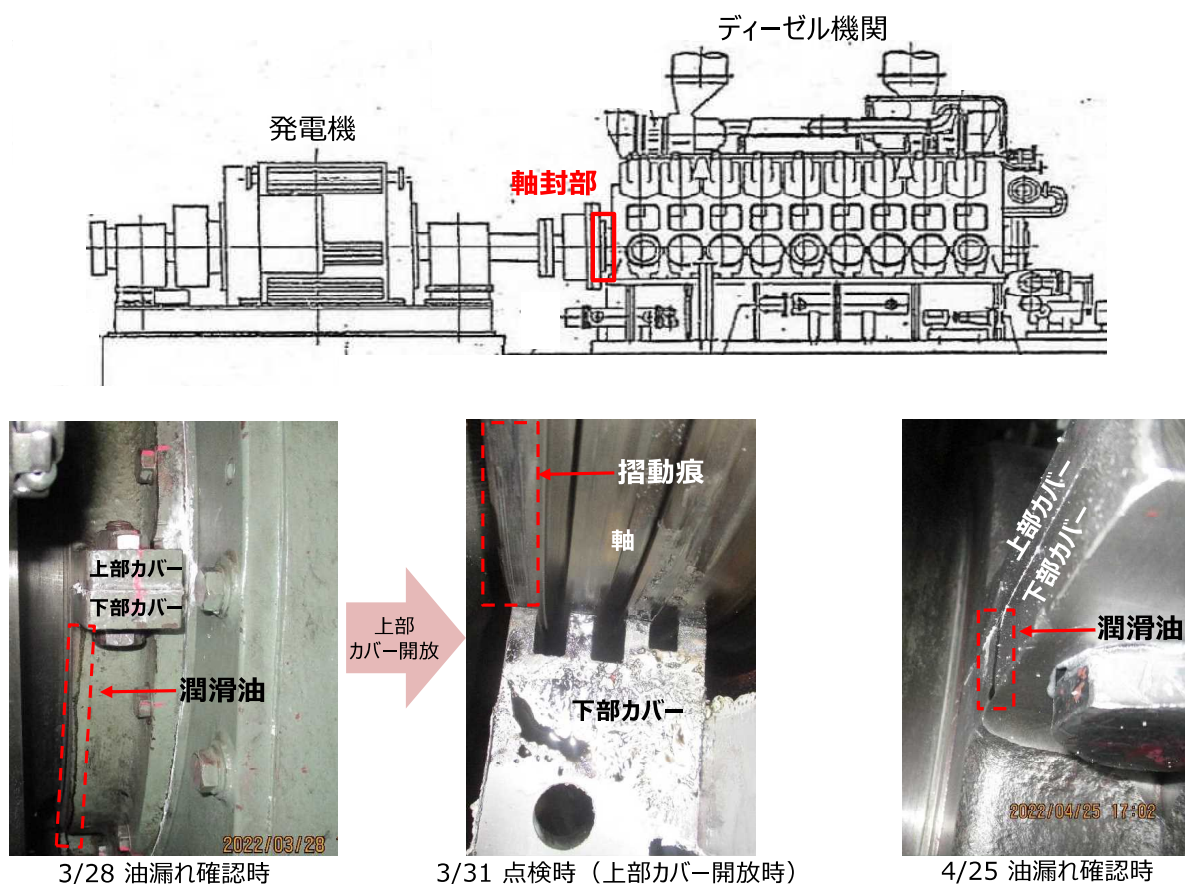
【事象の発生】
 2022年3月17日、原子炉建屋1階（非管理区域）において、非常用ディーゼル発電機（A）の24時間連続運転試験を実施していたところ、17時15分頃に非常用ディーゼル発電機（A）の軸受部から潤滑油が漏れいしていることを確認したことから、非常用ディーゼル発電機（A）を停止するとともに、一般回線にて公設消防へ連絡しました。
 潤滑油の漏れは停止しており、漏れ出た潤滑油の量は、1リットル未満と推定しております。また、漏れ出た潤滑油については、拭き取りを行うとともに、中和剤での処理を行いました。
 なお、漏れ出した潤滑油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。
 今後、潤滑油が漏れ出した原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。
 調査を進める中で、非常用ディーゼル発電機内部の潤滑油の漏出を抑制するために軸受部に設置されている部品（Oリング）が切れていることを確認しました。引き続き原因調査に取り組むとともに、切れたOリングについては今後、交換を実施します。

（2022年4月14日までにお知らせ済み）

① 【対応状況】
 3月26日にOリングの交換を実施し、3月28日にOリング交換後の復旧状況の確認テストとして、運転を実施したところ、開始直後に白いモヤのようなものと、軸封部のカバーの合わせ面から潤滑油の漏れを確認したことから、運転を停止しました。また、3月31日に実施した分解点検時には、軸封部の可動部に金属同士が接触したような痕（摺動痕）とOリングの破断も確認しています。
 4月22日にOリングの交換を実施し、4月25日に再度、確認テストを実施しました。その際も、軸封部のカバーの合わせ面から潤滑油の漏れを確認したことから、翌日（4月26日）、漏れ箇所、シール材でのコーキング処理（隙間を埋める処理）を実施しています。その後、4月27日も確認テストを実施しましたが、その際も、潤滑油の僅かな漏れを確認しています。引き続き原因調査に取り組んでまいります。



（参考）6号機非常用ディーゼル発電機（A）油漏れ発生状況



福島第二原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所の
「原子力事業者防災業務計画」の修正ならびに届出について

2022年5月16日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、2000年6月に施行された原子力災害対策特別措置法に基づき、「原子力事業者防災業務計画*」を原子力発電所ごとに作成し、運用してまいりました。

同法の規定において、原子力事業者は「原子力事業者防災業務計画」を毎年見直しするとともに、必要な場合はこれを修正することとしております。

この度、福島県、新潟県をはじめ地元自治体と協議の上、福島第二原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所の「原子力事業者防災業務計画」を内閣総理大臣ならびに原子力規制委員会に届出ましたので、お知らせします。

○「原子力事業者防災業務計画」の修正要旨（修正日：2022年5月16日）

- ・社内組織改編に伴う副原子力防災管理者の修正
- ・副原子力防災管理者による原子力防災管理者の代行順位の修正
- ・事業所外運搬における通報経路および連絡経路の修正

以上

* 原子力事業者防災業務計画

原子力災害対策特別措置法に基づき、原子力災害の発生および拡大の防止、ならびに原子力災害時の復旧に必要な業務等について定めたもの。

添付資料

- ・福島第二原子力発電所の「原子力事業者防災業務計画」の構成と主な内容
- ・柏崎刈羽原子力発電所の「原子力事業者防災業務計画」の構成と主な内容

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
原子力・立地本部 広報グループ 03-6373-1111（代表）

柏崎刈羽原子力発電所の「原子力事業者防災業務計画」の構成と主な内容

1. 構成

第1章 総則

第1節 原子力事業者防災業務計画の目的

第2節 定義

第3節 原子力事業者防災業務計画の基本構想

第4節 原子力事業者防災業務計画の運用

第5節 原子力事業者防災業務計画の修正

第2章 原子力災害予防対策の実施

第1節 防災体制

第2節 原子力防災組織の運営

第3節 放射線測定設備及び原子力防災資機材の整備

第4節 原子力災害対策活動で使用する資料の整備

第5節 原子力災害対策活動で使用する施設及び設備の整備・点検

第6節 防災教育の実施

第7節 訓練の実施

第8節 関係機関との連携

第9節 発電所周辺の方々を対象とした平常時の広報活動

第3章 警戒事象発生時における対応

第1節 連絡

第2節 応急措置の実施

第4章 緊急事態応急対策等の実施

第1節 通報及び連絡

第2節 応急措置の実施

第3節 緊急事態応急対策

第5章 原子力災害事後対策

第1節 発電所の対策

第2節 原子力防災要員及び本社原子力防災要員の派遣等

第6章 その他

第1節 他の原子力事業者への協力

第2節 附則

2. 主な内容（抜粋）

（1）原子力災害予防対策の実施（第2章）

① 緊急事態勢の区分（第1節）

原子力災害が発生するおそれがある場合又は発生した場合に、事故原因の除去、原子力災害の拡大の防止その他必要な活動を迅速かつ円滑に行うため、原子力災害の情勢に応じて次に掲げるとおり緊

急時態勢を区分する。

原子力警戒態勢：原子力災害対策指針に基づく警戒事象発生の連絡を行った場合

第1次緊急時態勢：原子力災害対策特別措置法第10条の特定事象発生の通報を行った場合

第2次緊急時態勢：原子力災害対策特別措置法第15条に基づく原子力緊急事態宣言が発出される事態(原子力緊急事態)に至った場合

② 原子力防災組織(第1節)

発電所及び本社に原子力災害の発生または拡大を防止するために必要な活動を行う原子力防災組織を設置する。

③ 原子力防災管理者・副原子力防災管理者の職務(第1節)

原子力防災管理者は、発電所長があたり、原子力防災組織を統括管理する。また、副原子力防災管理者は、原子力防災管理者を補佐し、原子力防災管理者が不在の場合にはその職務を代行する。

④ 通報連絡体制及び情報連絡体制(第2節)

原子力防災管理者は、特定事象の発生について通報を受けたとき、又は自ら発見したときに際し、通報連絡体制を整備する。また、通報を行った後の社外関係機関及び社内への報告及び連絡について連絡体制を整備する。

⑤ 放射線測定設備及び原子力防災資機材等の整備(第3節)

原子力防災管理者は、放射線測定設備(モニタリングポスト)を整備、維持するとともに、原子力防災資機材及び資料等を整備する。

⑥ 原子力災害対策活動で使用する施設及び設備の整備・点検(第5節)

原子力防災管理者は、緊急時対策所、気象観測設備及び緊急時対応情報表示システム等を整備・点検する。

⑦ 防災教育及び訓練の実施(第6節及び第7節)

原子力防災管理者は、原子力防災組織及び活動に関する知識並びに放射線防護に関する知識等について防災教育を実施するとともに、防災訓練(緊急時演習)及び通報訓練等を実施する。また、国又は地方公共団体が主催する原子力防災訓練に参加する。

⑧ 発電所周辺の方々を対象とした平常時の広報活動(第9節)

原子力防災管理者及び社長は、発電所周辺の方々に対し、国、地方公共団体と協調して放射性物質及び放射線の特性等についての理解活動に努める。

(2) 警戒事象発生時における対応(第3章)

① 連絡の実施(第1節)

原子力防災管理者は、警戒事態を判断する事象の発生について連

絡を受け、又は自ら発見したときは、関係機関にファクシミリ装置を用いて一斉に送信する。

② 原子力警戒態勢発令時の対応（第1節）

原子力防災管理者は、警戒事態を判断する事象の連絡を行ったときは、原子力警戒態勢を発令し、警戒本部を設置する。

③ 情報の収集と提供（第1節）

発電所警戒本部の各班長は、事故及び被害状況等を迅速かつ的確に収集し、発電所警戒本部長に報告する。また、その情報を定期的に収集し、社外関係機関に連絡する。

④ 応急措置の実施（第2節）

発電所対策本部の各班長は第4章に示す応急措置の各措置について、必要に応じ実施する。

(3) 緊急事態応急対策等の実施（第4章）

① 通報の実施（第1節）

原子力防災管理者は、特定事象の発生について通報を受け、又は自ら発見したときは、15分以内を目途として、関係機関にファクシミリ装置を用いて一斉に送信する。

また、この通報を行ったときは、その旨を報道機関へ発表する。

② 緊急時態勢発令時の対応（第1節）

原子力防災管理者は、特定事象の通報を行ったときは、緊急時態勢を発令し、緊急時対策本部を設置する。

③ 情報の収集と提供（第1節）

発電所対策本部の各班長は、事故及び被害状況等を迅速かつ的確に収集し、発電所対策本部長に報告する。また、その情報を定期的に収集し、社外関係機関に連絡する。

④ 応急措置の実施（第2節）

発電所対策本部の各班長は次の応急措置を実施する。

- (a) 発電所敷地内の原子力災害対策活動に従事しない者及び来訪者等に対する避難の周知
- (b) 発電所内及び発電所敷地周辺の放射線並びに放射能の測定等による放射能影響範囲の推定
- (c) 負傷者及び放射線障害を受けた者又は受けたおそれのある者の救出及び医療活動、緊急時対策要員に対する健康管理等
- (d) 火災状況の把握と迅速な消火活動
- (e) 不必要な被ばくを防止するための、立入り禁止措置の実施並びに放射性物質による予期しない汚染が確認された場合の拡大防止と除去

- (f) 避難者及び原子力災害対策活動に従事している要員の線量評価並びに放射性物質による汚染が確認された場合の拡大防止と除去
- (g) 緊急事態勢が発令された場合の事業者プレスセンターの開設及び防災センターでの広報活動
- (h) 中央制御室の監視及び巡視点検の実施によるプラント状況把握及び応急復旧計画に基づく復旧対策の実施
- (i) 事故状況の把握、事故の拡大防止及び被害の拡大に関する推定による必要な措置の検討・実施
- (j) 原子力防災資機材及びその他原子力災害対策活動に必要な資機材の調達・輸送
- (k) 事業所外運搬に係る事象が発生した場合の要員派遣並びに運搬を委託された者等との協力による原子力災害発生防止の措置を実施
- (l) 防災センターの運営の準備に入る体制を取る旨の連絡を受けた場合の原子力防災要員等の派遣及び原子力防災資機材の貸与等の実施

⑤ 緊急事態応急対策（第3節）

(a) 第2次緊急事態勢の発令

発電所対策本部長は、原子力緊急事態の発生に至った場合、社外関係機関にその旨を報告し、第2次緊急事態勢を発令する。

(b) 原子力災害合同対策協議会等との連絡報告

発電所対策本部長は、防災センターに派遣されている原子力防災要員等と連絡を密に取り、原子力災害合同対策協議会から発電所に対して要請された事項に対応するとともに、原子力災害合同対策協議会に対して必要な意見を進言する。

(c) 事業所外運搬事故における対策

発電所対策本部長及び本社対策本部長は、運搬を委託された者と協力し、原子力施設における原子力災害に準じた緊急事態応急対策を主体的に講じる。

(4) 原子力災害事後対策（第5章）

原子力防災管理者は、原子力緊急事態解除宣言があった時以降において、原子力災害の拡大の防止又は原子力災害の復旧を図るため、原子力災害事後対策を実施する。

① 復旧対策（第1節）

発電所対策本部長は、原子炉施設の損傷状況及び汚染状況の把握等について復旧計画を策定、実施する。

(5) 他の原子力事業者への協力（第6章）（第1節）

他の原子力事業者の原子力事業所で原子力災害が発生した場合、原子力防災管理者は、発災事業者からの要請に応じ、緊急事態応急対策及び原子力災害事後対策が的確かつ円滑に行われるようにするため、環境放射線モニタリング、周辺区域の汚染検査及び汚染除去、原子力防災要員等の派遣、原子力防災資機材の貸与その他必要な協力を行う。

以上

当社原子力発電所における原子力規制庁による
2021年度第4四半期実施計画検査および原子力規制検査の結果について

2022年5月18日

東京電力ホールディングス株式会社

本日の原子力規制委員会において、原子力規制庁が実施した当社原子力発電所における2021年度第4四半期実施計画検査および原子力規制検査の結果が報告され、福島第二原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所に関する事案について、以下の判定を受けました。

<福島第二原子力発電所（規制検査）>

（事案1）

- ・周辺防護区域及び立入制限区域への車両の入域管理の不備・・・安全上の重要度：緑^{※1}
違反の深刻度レベル：IV^{※2}
(本日お知らせ)

<柏崎刈羽原子力発電所（規制検査）>

（事案1）

- ・モニタリングポスト取替工事における
低レンジ測定値のデータ伝送に係る設計管理の不備・・・安全上の重要度：緑
違反の深刻度レベル：IV
(2021年11月12日 お知らせ済み)

（事案2）

- ・5号機 非常用ガス処理系が動作可能であることの確認不備・・・安全上の重要度：緑
違反の深刻度レベル：IV
(2022年2月16日 お知らせ済み)

福島第二原子力発電所における核物質防護事案については、核物質防護の脆弱性が公にならない範囲において、概要を別紙のとおりお知らせいたします。

当社は、引き続き原子力規制委員会による審査に真摯かつ丁寧に対応するとともに、福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります。

※1 安全上の重要度「緑」

「安全上の重要度」は、原子力施設の安全確保に対する劣化の程度により「赤」「黄」「白」「緑」の順に区分される。重要度「緑」は、安全確保の機能または性能への影響があるが、限定的かつ極めて小さなものであり、事業者の改善措置活動により改善が見込める水準のものに適用される。

※2 違反の深刻度レベル「SL IV」(SL: Severity Level)

「違反の深刻度レベル」は、違反の深刻度に応じて「SL I」「SL II」「SL III」「SL IV」の順に区分される。深刻度「SL IV」は、原子力安全上または核物質防護上の影響が限定的であるもの、またはそうした状況になり得たものに適用される。

別紙：福島第二原子力発電所における核物質防護に係る事案について

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
原子力・立地本部 広報グループ 03-6373-1111 (代表)

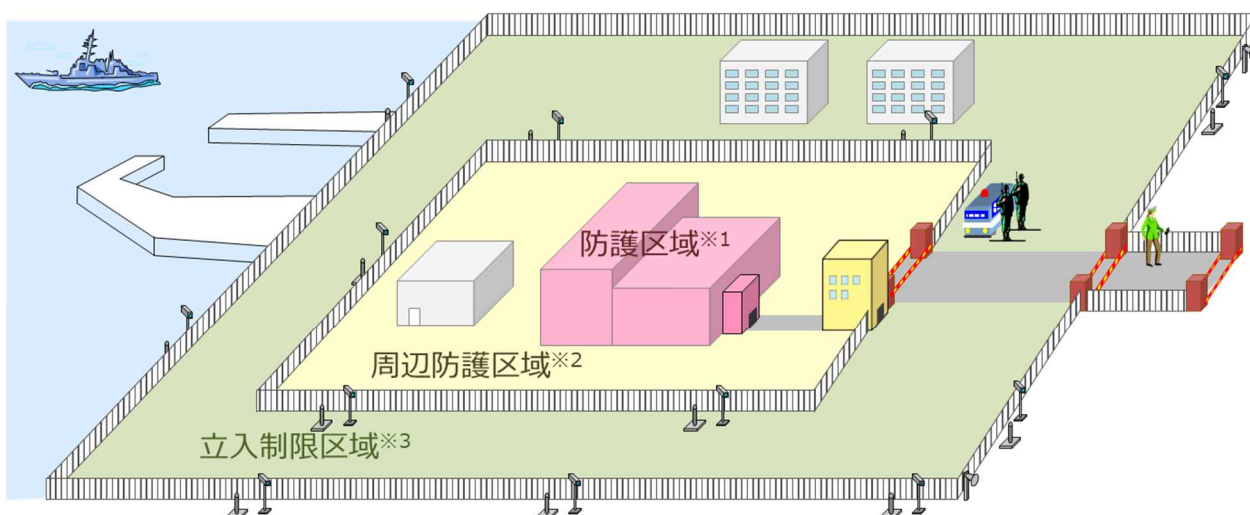
福島第二原子力発電所における核物質防護に係る事案について

2022年5月18日

東京電力ホールディングス株式会社

■事案1：周辺防護区域及び立入制限区域への車両の入域管理の不備

- ・ 福島第二原子力発電所（以下「福島第二」）では、2021年11月26日、周辺防護区域の入域申請を行っていない車両による同区域への入域が複数回確認されたことから、原子力規制庁へ報告した。
- ・ 原因としては、見張人による車両確認が不十分であったことから、2022年1月20日までに、見張人の対応ルールの再周知を図るなどといった対策を講じた。
- ・ しかしながら、福島第二では2022年1月24日、立入制限区域の入域申請を行っていない車両による同区域への入域が確認され、原子力規制庁へ報告した。
- ・ これらの事案を踏まえ、原因を改めて調査したところ、福島第二では、見張人の車両確認が不十分であったことに加えて、車両入域許可証の様式に不備があり、見張人が許可された区域を誤認しやすい状態となっていることを確認した。
- ・ よって、これらの事案に対する再発防止対策として、福島第二における車両入域許可証の様式見直し等の是正措置を実施した。
- ・ なお、福島第二における車両の乗員に対する手続きに問題はなく、施設等への妨害破壊行為もなかった。
- ・ また、福島第一原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所においては、車両入域許可証は同様式を使用しておらず、同様の事案は発生しないことを確認している。



- ※1 防護区域：特定核燃料物質を使用・貯蔵する設備が設置されている区域
- ※2 周辺防護区域：防護区域における特定核燃料物質の防護をより確実に行うため、防護区域の周辺に定める区域
- ※3 立入制限区域：周辺防護区域の周辺の人の出入りを制限する区域

図. 核物質防護に係る区画および車両による入域のイメージ

以上

(お知らせ)

2022年5月24日

東京電力ホールディングス株式会社

「核セキュリティ専門家評価委員会」第4回会合開催について

5月24日、「核セキュリティ専門家評価委員会」の第4回会合をオンラインにて開催しましたので、お知らせいたします。

日 時：2022年5月24日（火）8：30-11：30

場 所：リモートによる開催

出席者：板橋委員長、岩本委員、黒木委員、野呂委員

主な議題：

○2021年度 核セキュリティ業務に関するパフォーマンス評価について

当社は、「福島第一原子力発電所事故の反省と教訓」という原点に今一度立ち返り、発電所を生まれ変わらせるつもりで、発電所の安全性や業務品質を向上していくにあたり、同委員会からいただくご指摘や提言を反映し、抜本的な改革に取り組んでまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
原子力・立地本部 広報グループ 03-6373-1111（代表）

わたしたち（発電所で働く全ての人々）の志＝「いい発電所にしよう」	
わたしたちが目指す姿	わたしたちの決意・約束
地域を愛し、 地域に愛される発電所	<p><わたしたちの基本姿勢></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 『柏崎刈羽 行動規範』を守ります ● 人身災害・火災・ヒューマンエラー等から学びます ● 現場・現物・現実に基づきカイゼンし、成長し続けます
	<p><地域のみなさまとのつながり></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 誠実な情報発信に努め、いただいた声を活かしていきます ● 地域の活動に積極的に参加し、地域の災害時にも貢献します ● 地域の方と一体となり、地域の技術を活用する発電所をつくります
みんなが誇りを持って、 笑顔で生き活きと働く発電所	<ul style="list-style-type: none"> ● 人を大切にし、設備に愛着を持ちます ● 一人ひとりが主役となり、自分の仕事に責任を持ちます ● すべての仲間と本気のコミュニケーションでつながります (解決に向け、納得するまで本音をぶつけ合う) ● お互いに信頼し合い、感謝の心で接します
お客さまに 選んでいただける発電所	<ul style="list-style-type: none"> ● 発電所を適切に運営し、安定・効率的に発電します ● 新しい技術・知見を活用し、設備更新や運用改善に挑み続けます ● 廃棄物排出を最少化し、環境負荷を低減します

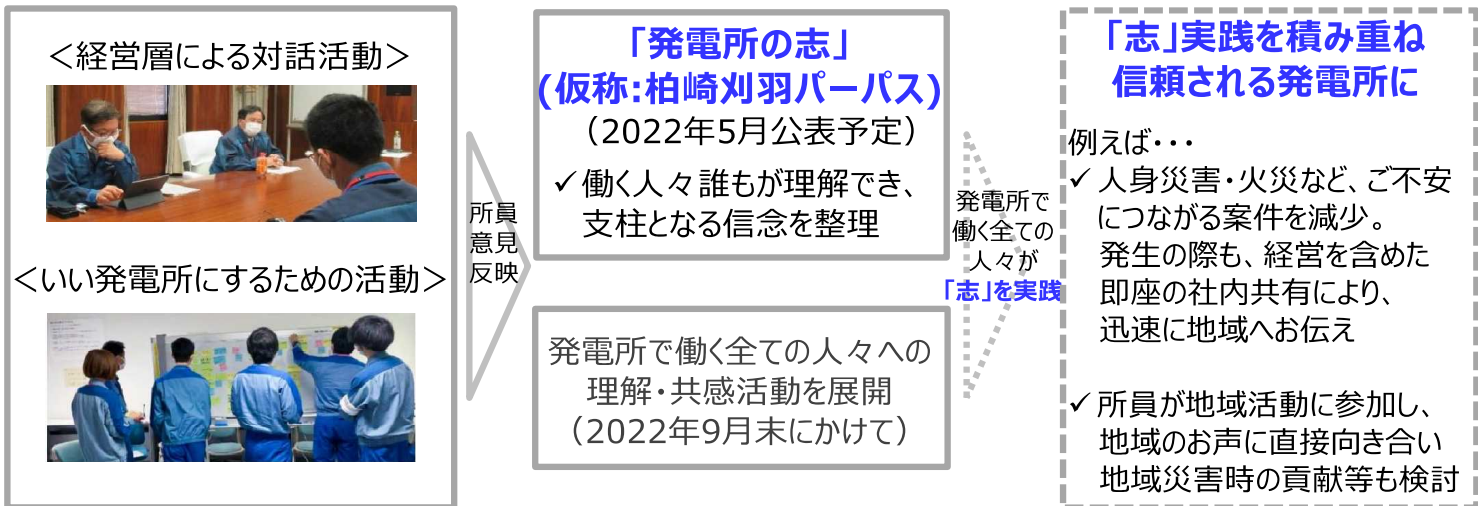
(参考) 柏崎刈羽 行動規範

- 一、誰に対しても分けへだてなく、礼をもって接しなくてはなりません
- 一、不正や犯罪行為など、恥ずべき行為をしてはなりません
- 一、原子力安全を損なう ふるまいをしてはなりません
- 一、核セキュリティに関するルールを常に意識し、違反してはなりません
- 一、人権侵害や嫌がらせをしてはなりません
- 一、会社に関する機微な情報を社外に漏らしてはなりません
- 一、社会のみなさまや会社に迷惑をかけてはなりません

ならぬことはならぬものです

(参考)「柏崎刈羽原子力発電所の志」の概要 (3月30日にお知らせ済)

- 現在、経営層と所員による対話活動（実績:131回）や若手所員を中心に所員自らが「いい発電所」にするための活動を展開
- こういった活動における所員からの意見を発電所幹部が受け止め、「**発電所の志（仮称:柏崎刈羽パーパス）**」を作成（2022年5月所長会見にて公表予定）
 - ✓ 発電所で働く全ての人々にとっての信念・支柱として基本的なふるまいとともに整理
 - ✓ 2022年9月末にかけて理解・共感活動を展開し、発電所で働く全ての人々の実践により、地域の皆さまから信頼される発電所を実現する
- なお、一体感醸成をより強力に推進するため、**中部電力OBの水谷氏を所長補佐として登用**。今後、内部コミュニケーションや所員のモチベーションの改善を担い、所長とともに原子力改革の達成に尽力



柏崎刈羽原子力発電所における取組み

【改革の進捗状況】柏崎市内（UKビル）の事務所の開所について

- 2022年5月1日から本社原子力部門の一部機能が移転したことに伴い、5月9日に柏崎市内（UKビル）の事務所で開所式を実施
- 本社・発電所の一体運営を強化するために、品質・安全や設備診断、工程管理、人材育成部門などを担当する社員43名が勤務（5月に移転した48名のうち、5名は発電所内に勤務）
- 将来的な移転の計画については、執務場所や居住場所の確保等の諸課題について精査した上で、2022年9月を目途にお知らせ

＜事務所での開所式の様子＞



最前列の左から新潟本社代表の橋田、発電所長の稲垣、原子力・立地本部長の福田

事務所での執務の様子

柏崎刈羽原子力発電所 2021 年度「防災訓練実施結果報告書」の
原子力規制委員会への提出について

2022 年 5 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、2000 年 6 月に施行された原子力災害対策特別措置法に基づき、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所の発電所ごとに作成した「原子力事業者防災業務計画^{*}」に従い、防災訓練を実施しております。

原子力事業者は、2012 年 6 月に改正された原子力災害対策特別措置法の規定に基づき、防災訓練の実施結果について、原子力規制委員会に報告するとともに、その要旨を公表することとなっております。

本日、柏崎刈羽原子力発電所の 2021 年度「防災訓練実施結果報告書」を同委員会に提出しましたので、お知らせいたします。

以 上

※原子力事業者防災業務計画

原子力災害対策特別措置法に基づき、原子力災害の発生および拡大の防止ならびに原子力災害時の復旧に必要な業務等について定めたもの。

添付資料

- ・柏崎刈羽原子力発電所「防災訓練実施結果報告書」

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
原子力・立地本部 広報グループ 03-6373-1111（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年5月12日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	50代	男性	柏崎市	協力企業	・5月10日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年5月14日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	上越市	協力企業	・5月12日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年5月15日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	50代	男性	柏崎市	協力企業	・5月13日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年5月16日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに2名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	柏崎市	当社社員	・5月14日陽性判明
2	50代	男性	刈羽村	当社社員	・5月14日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年5月20日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	柏崎市	協力企業	・5月18日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年5月21日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	10代	女性	柏崎市	協力企業	・5月19日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年5月26日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	柏崎市	当社社員	・5月23日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年5月30日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	柏崎市	協力企業	・5月28日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

2022年5月24日
東京電力ホールディングス株式会社

人 事 通 知

日 付	新 役 職 等	現 役 職	氏 名
2022. 7. 1	<p>[執行役員事務委嘱変更]</p> <p>東京電力ホールディングス株式会社 執行役員原子力・立地本部副本部長 兼原子力安全・統括部長兼原子力改 革ユニット原子力改革特別タスクフ ォース事務局</p>	東京電力ホールディングス株式会社 執行役員原子力・立地本部副本部長	増井 秀企
2022. 7. 1	<p>[本社部長級の異動]</p> <p>東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部副本部長兼原子力・立地本 部副本部長補佐兼柏崎刈羽原子力発電 所所長補佐</p>	東京電力ホールディングス株式会社 原子力・立地本部立地地域部長兼青 森事業本部兼福島本部兼新潟本部	犬飼 一雅
2022. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 原子力・立地本部	東京電力ホールディングス株式会社 原子力安全・統括部長兼原子力改革 ユニット原子力改革特別タスクフ ォース事務局	渡辺 沖
2022. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 原子力設備管理部長（柏崎刈羽原子 力発電所駐在）兼柏崎刈羽原子力発 電所（プロジェクト統括担当）	東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所ユニット所長 （5～7号）	山下 理道
<p>[子会社社長推薦] 就任年月日は各社株主総会決議により定めた日</p>			
	東双不動産管理株式会社 取締役社長	東京電力エナジーパートナー株式会社 販売本部お客さま営業部部長代理兼 お客さま営業部（リスク担当）兼 お客さま営業部（人財育成担当）	竹内 眞
	東京レコードマネジメント株式会社 取締役社長	東京電力エナジーパートナー株式会社 経営戦略本部経営企画室経営戦略グ ループマネージャー	児玉 大藏
	株式会社エナジーゲートウェイ 取締役社長	東京電力パワーグリッド株式会社 事業開発室 株式会社エナジーゲー トウェイ出向	酒井 正充

以 上

組織改編について

2022年5月31日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、「原子力改革」の取り組みの一環として、柏崎刈羽原子力発電所に必要な本社機能の移転を進めていますが、東京側の本社機能について見直しを行い、本年7月1日に以下の組織改編を実施いたします。

1. 「原子力企画室」の設置

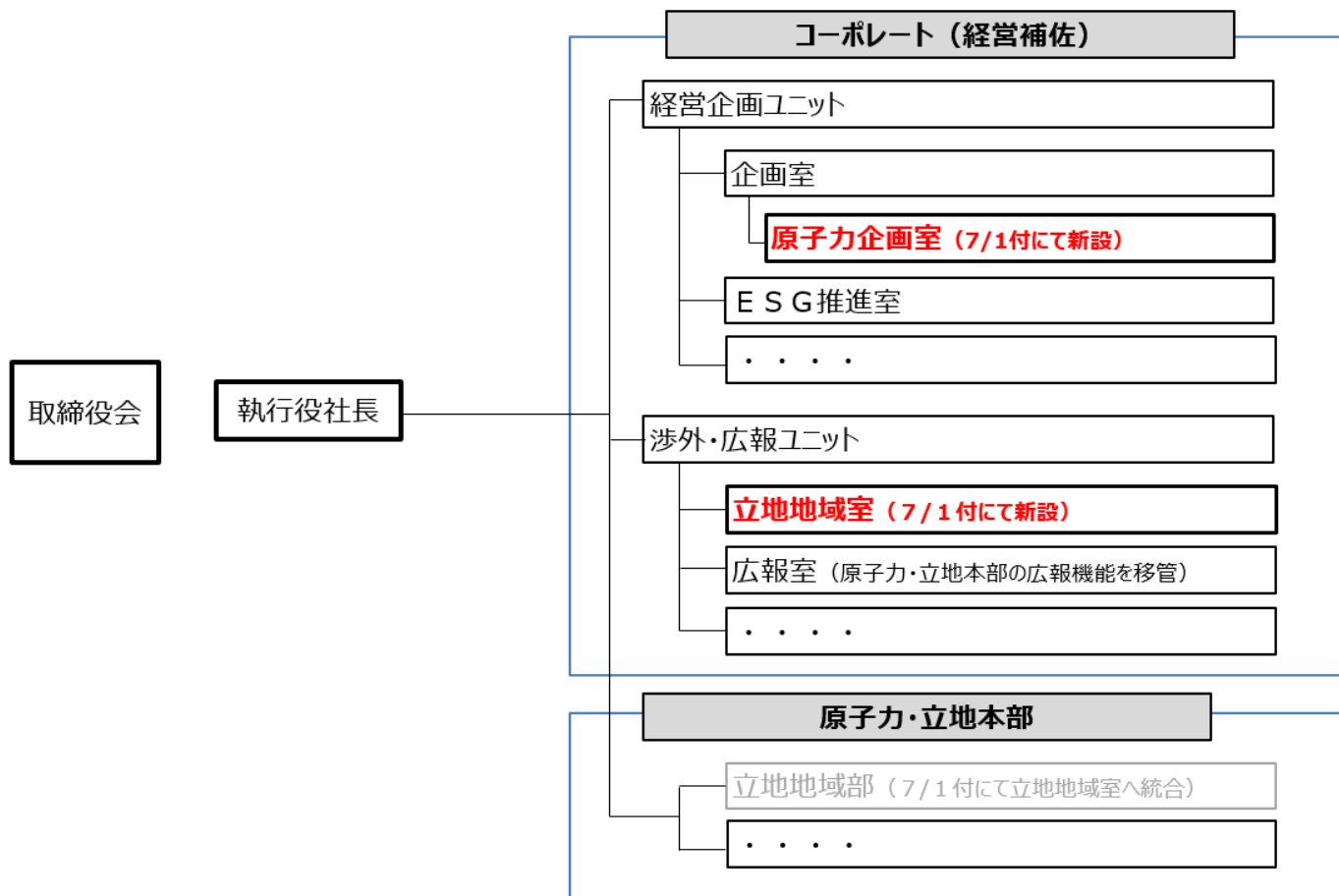
当社の原子力・立地本部およびコーポレート部門が有する原子力事業・サイクル事業等に関する戦略立案・政策対応などの機能を集約し、経営企画ユニット企画室内に「原子力企画室」を設置いたします。

2. 「立地地域室」の設置

本社において原子力の立地地域対応を行っている立地地域部を、原子力・立地本部からコーポレートの渉外・広報ユニットに移管し、原子力の立地地域対応に加えて、福島第一廃炉推進カンパニーやその他グループ会社の立地地域対応との連携を担う「立地地域室」を設置いたします。

以 上

組織改編の概要について



【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 報道グループ 03-6373-1111 (代表)

2022年5月31日
東京電力ホールディングス株式会社

人 事 通 知

日 付	新 役 職 等	現 役 職	氏 名
2022. 7. 1	<p>[執行役員事務委嘱変更]</p> <p>東京電力ホールディングス株式会社 執行役員原子力・立地本部副本部長 兼立地調整統括（社長補佐）兼立地 地域室長兼広報室</p>	<p>東京電力ホールディングス株式会社 執行役員原子力・立地本部副本部長</p>	<p>柿澤 幸彦</p>

以 上

改善事項について (6月報告)

2022年6月1日

東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

TEPCO

■ 改善事項

TEPCO

改善事項

竜巻発生予兆時における周辺道路の渋滞緩和のご意見に対する改善について

いただいた声

竜巻警報による発電所入口の閉鎖に伴い、周辺道路まで渋滞が発生していた。

改善内容

発電所では竜巻発生時の恐れがある際には、発電所内の重要な施設や設備に飛来物が衝突することを防ぐため、発電所構内への車両の入構を制限（発電所の正門を封鎖）します。そのため、発電所へ入構予定の車両が入れず、周辺道路まで渋滞を引き起こしたことにより、ご迷惑をおかけしました。



竜巻が発生する予兆を確認した時点で、正門を封鎖する準備として発電所に隣接しているサービスホールの駐車場等へ警備員が車両を誘導することで、周辺道路が渋滞しないよう運用の見直しをしました。



NEWS atom 5月号でも本件について紹介いたしました。

皆さまの声から改善しました

発電所では、地域の皆さまから頂いた声を受けて、より良い発電所の運営を行うための改善活動を行っています。その一例をご紹介します。

(2021年11月に発生した)竜巻警報による発電所の入口封鎖に伴う渋滞が、周辺道路まで影響が出ていた。発電所の安全を確保するためには分かっているが、改善はできないか。

背景

竜巻発生時の恐れがある際には、発電所の重要な施設や設備に飛来物が衝突することを防ぐため、発電所構内への車両の入構を制限（発電所の正門を封鎖）する必要があります。

改善

竜巻が発生する予兆を確認した時点で、正門を封鎖する準備として警備員によるサービスホール駐車場等への誘導を開始することで、正門から周辺道路にかけて渋滞が発生させないように運用を見直しました。



上記以外でもご迷惑をおかけすることのないよう、今後も地域の皆さまのご意見に耳を傾けてまいります。

今後も皆さまからのご意見を発電所運営に活かしてまいります。

ご質問への回答

<竹内委員>

Q1. 非常用発電機の油漏れなどのトラブルについての質問です。

3台あるうちの1台で24時間連続運転試験を実施してトラブルが続き、部品の取り換えなどを行っても検査を完了できていないとのことでしたが、他の2台の非常用発電機の24時間連続運転試験は無事完了したのでしょうか。

A1.

- 非常用ディーゼル発電機の24時間連続運転試験は、メンテナンスの妥当性確認と運転実績の蓄積を目的に、原子力発電所を保有する電力各社において1台以上で実施することとしており、当発電所では、6号機の非常用ディーゼル発電機（A）にて実施したものです。
- なお、他の2台については実施しておりませんが、通常の定例試験により設備の健全性を確認しております。

Q2. 核物質防護設備で問題となった「自主設備化」と、内製化や手の内化は別の目的で行われているものだと思うのですが、それぞれの目的は次の理解で合っているでしょうか。

- ・ 自主設備化：コスト削減
- ・ 内製化：原発で事故が起こった際に、東京電力の職員だけしかサイト内に残らなくても対応できるようにするため
- ・ 手の内化：協力企業が行う作業工程や技術を理解し、適切な管理を行うため

A2.

- 核物質防護設備のリース契約から買い取り契約への見直しについては、電力設備としてリース契約は特異な保有形態であり、設備更新の際に機動的な対応を行い難いことなどを理由に検討を行ったもので、コスト削減を目的に行ったものではありません。
- しかしながら、9月22日に原子力規制庁へ提出した「IDカード不正使用および核物質防護設備の機能の一部喪失に関わる改善措置報告書」にもお示ししているとおり、この変更が与える影響の評価という点で甘かったものと考えております。
- 一方で、福島第一原子力発電所での事故の反省から、自らの技術力を向上させることが重要と考えております。それぞれの作業工程のプロセスを理解し、管理する上での重要なポイントを知ることが必要であり、これを「手の内化」とよんでいます。

- なお、「手の内化」の手段として、当社グループ企業で実施する「内製化」や当社社員自らが行う「直営化」、メーカーとの協働があります。
- 引き続き、手の内化と、当社社員及び協力企業の技術力向上を図る取り組みを進めてまいります。

Q3. 5月定例会で報告のあったp3~6のトラブルの中に、自主設備化や内製化が影響しているトラブルはありますか。または、手の内化がされていれば、防ぐことができたトラブルがありますか。

A3.

- 5月の定例会で報告した案件の内、「7号機のフィルタバント配管接合部（フランジ）の形状選定誤り」については内製化で行った案件となります。
- フィルタバントについては新規基準により設置を求められた新規設備であり、プラントメーカーにもノウハウが無い設備であったことから、当社が独自に開発することとし、グループ企業と共同で開発・設計・工事を進めてきたものです。
- また、本工事は技術力向上等を目的として、上流設計から当社も関与して当社グループ企業で工事を実施したものであることから、当社としても新規設備の設計や施工における業務品質の向上をふまえ、より良い管理方法を手の内化することで、確認のプロセス等に反映してまいります。
- なお、「6号機の非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れ」後の分解・点検については、直営作業により実施しておりますが、分解・点検後の確認運転時に発生した不具合について原因調査中のため、その結果を踏まえて、今後の対応につなげてまいります。

以上

2022年6月1日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日付	新役職	現役職	氏名
2022.6.28	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部長 兼 原子力・立地本部 兼 原子力改革担当付	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部 兼 原子力・立地本部	いたがき ひろし 板垣 宏
2022.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域共創部 産学官連携グループマネージャー 兼 経営技術戦略研究所	東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室 兼 福島本部 福島広報部リスクコミュニケーター 兼 福島本部復興推進室	ありさか ひろし 有坂 浩
2022.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部 広報グループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室報道グループ 経営報道チームリーダー	つのだ なおき 角田 直紀
2022.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部 報道グループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室 広報グループマネージャー	みうら たかひろ 三浦 貴博
2022.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部	東京電力パワーグリッド株式会社 渋谷支社企画総括グループ（総務担当）	ほそい よしのり 細井 克宣
2022.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 地域総括グループマネージャー	東京電力パワーグリッド株式会社 海外事業推進室海外戦略グループ 兼 海外事業推進室（リスク担当）	かしわくら だいすけ 柏倉 大輔

日付	新役職	現役職	氏名
2022.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 原子力運営管理部防災安全グループ	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域共創部 産学官連携グループマネージャー 兼 経営技術戦略研究所	ながた りきや 永田 力也
2022.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所広報部 報道グループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部 報道グループマネージャー	しらき こういちろう 白木 孝一郎
2022.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 栃木総支社副総支社長	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 地域総括グループマネージャー	はつしば けんいち 初芝 健一
2022.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 山梨総支社副総支社長 兼 山梨総支社（リスク担当） 兼 山梨総支社（環境担当）	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部	あいかわ まさみ 相川 正美
2022.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 静岡総支社 業務総括グループマネージャー 兼 HD ビジネスソリューション・ カンパニー オフィスサービスセンター ヒューマンサポート第二グループ	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部 広報グループマネージャー	しもやま あきひろ 下山 晃宏

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461（代表）

報道関係各位

2022年 6月 1日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日付	新役職	現役職	氏名
	<副所長級>		
2022.7.1	原子力運営管理部部長代理 兼 原子力運営管理部（リスク担当） 兼 原子力・立地本部 （柏崎刈羽原子力発電所6・7号統括責任者） 兼 柏崎刈羽原子力発電所 兼 原子力設備管理部 兼 原子力設備管理部 KK6安全対策共同事業株式会社出向 兼 経営企画ユニット企画室原子力企画室	原子力運営管理部部長代理 兼 原子力運営管理部（リスク担当） 兼 原子力・立地本部 （柏崎刈羽原子力発電所6・7号統括責任者） 兼 柏崎刈羽原子力発電所 兼 原子力設備管理部 兼 原子力設備管理部 KK6安全対策共同事業株式会社出向	たまい としみつ 玉井 俊光
2022.7.1	福島第二原子力発電所ユニット所長 兼 原子力人財育成センター	柏崎刈羽原子力発電所第一運転管理部長	やまくち さとる 山口 啓
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所ユニット所長（1～4号） 兼 第一運転管理部長 兼 原子力人財育成センター	原子力運営管理部運転管理グループマネージャー （新潟県柏崎市UKビル駐在） 兼 運転計画グループ 兼 核セキュリティ管理グループ 兼 原子力・立地本部（運転CFAM担当） 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 原子力運営管理部リスクコミュニケーター 兼 原子力改革担当付	かなり きみひこ 金成 公彦
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所ユニット所長（5～7号）	原子力設備管理部設備技術グループマネージャー 兼 設計エンジニアリンググループマネージャー 兼 廃止措置室	きくかわ ゆたか 菊川 浩
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所副所長 兼 原子力・立地本部 兼 原子力改革担当付	柏崎刈羽原子力発電所副所長 兼 原子力・立地本部 兼 原子燃料サイクル部 兼 原子力改革担当付	いとう えいいちろう 伊藤 英一郎
	<部長級>		
2022.7.1	経営企画ユニット企画室 原子力企画室事業分析グループマネージャー 兼 原子力改革担当付	原子力・立地本部（柏崎刈羽原子力発電所駐在） 兼 事業分析グループマネージャー 兼 原子力・立地本部（リスク担当） 兼 原子力改革担当付	こうご ひろし 向後 浩
2022.7.1	渉外・広報ユニット立地地域室副室長 兼 立地地域室（カイゼン担当）	柏崎刈羽原子力発電所総務部長	ふくだ とも 福田 友
2022.7.1	原子力・立地本部 （柏崎刈羽原子力発電所駐在） 兼 原子力安全・統括部（リスク担当） 兼 経営企画ユニット企画室原子力企画室 兼 原子力改革担当付	原子力・立地本部（柏崎刈羽原子力発電所駐在） 兼 原子力安全・統括部（リスク担当） 兼 原子力改革担当付	よねやま みつる 米山 充
2022.7.1	原子力設備管理部原子力耐震技術センター所長 兼 設備計画グループマネージャー 兼 廃止措置室	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部電気機器グループマネージャー 兼 第一保全部電気機器（1・4号）グループ 兼 第一保全部電気機器（2・3号）グループ	にし こうはちろう 西 宏八郎

日付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所（安全担当） 兼 原子力安全センター安全総括部 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所リスクコミュニケーター	安全推進室安全啓発グループマネージャー 兼 安全啓発・創造センター	たなか けんいちろう 田中 謙一郎
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所総務部長 <課長級>	東京電力エナジーパートナー株式会社 販売本部お客さま営業部	あかぼり みつとし 赤堀 光年
2022.7.1	原子力安全監視室 （福島第一廃炉推進カンパニー福島第一原子力発電所駐在）	原子力安全監視室（柏崎刈羽原子力発電所駐在） 兼 柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター	みつやま たかあき 満山 孝明
2022.7.1	原子力安全監視室（柏崎刈羽原子力発電所駐在） 兼 柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター 安全総括部改善推進グループ 安全文化育成チームリーダー	まえかわ しんすけ 前川 真介
2022.7.1	内部監査室柏崎刈羽原子力監査グループ	柏崎刈羽原子力発電所第一運転管理部当直長	せきや まさのぶ 関矢 雅信
2022.7.1	渉外・広報ユニット立地地域室 新潟グループマネージャー 兼 新潟本部	柏崎刈羽原子力発電所広報部（地域担当）	やまもと だいが 山本 大吾
2022.7.1	渉外・広報ユニット広報室広報グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所広報部報道グループマネージャー	かざま あきみつ 風間 章光
2022.7.1	原子力・立地本部（柏崎刈羽原子力発電所駐在） 兼 原子力安全・統括部原価管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 保全総括グループマネージャー	かたやま たけし 片山 武司
2022.7.1	原子力運営管理部運転計画グループマネージャー （新潟県柏崎市UKビル駐在） 兼 原子力・立地本部（運転CFAM担当） 兼 核セキュリティ管理グループ	柏崎刈羽原子力発電所第二運転管理部 発電グループマネージャー 兼 作業管理グループマネージャー	いよく まさお 伊能 政雄
2022.7.1	原子力設備管理部 兼 安全施設建設センター 兼 柏崎刈羽原子力発電所第二保全部	原子力設備管理部 兼 原子力設備管理部 KK6安全対策共同事業株式会社出向 兼 安全施設建設センター	にしづる しょういち 西鶴 祥一
2022.7.1	原子力設備管理部 兼 原子力設備管理部 KK6安全対策共同事業株式会社出向 兼 安全施設建設センター	原子力設備管理部設備技術グループ （専任スタッフ） 兼 安全施設建設センター機械グループ 兼 柏崎刈羽原子力発電所第二保全部	えんどう しんや 遠藤 慎也
2022.7.1	原子力設備管理部 兼 設備計画グループ 兼 設備技術グループ 兼 原子力設備管理部 KK6安全対策共同事業株式会社出向 兼 廃止措置室	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 電気機器（1・4号）グループマネージャー 兼 電気機器（2・3号）グループマネージャー 兼 第二保全部電気機器グループ	ふかさわ ゆたか 深澤 裕
2022.7.1	原子力設備管理部 兼 安全施設建設センター 兼 柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 兼 東京電力パワーグリッド株式会社 人財開発室	東京電力パワーグリッド株式会社 山梨総支社駒橋制御所長 兼 山梨総支社（大月エリア安全品質担当）	ありが しょうじ 有賀 章二
2022.7.1	原子燃料サイクル部 日本原燃株式会社出向	原子力・立地本部（柏崎刈羽原子力発電所駐在） 兼 原子力安全・統括部原価管理グループマネージャー	ひらた つよし 平田 剛
2022.7.1	原子燃料サイクル部 日本原燃株式会社出向	原子力設備管理部 兼 安全施設建設センター 兼 柏崎刈羽原子力発電所第二保全部	おがた ひろふみ 緒方 博史

日付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2022.7.1	原子力人財育成センター 運転育成グループマネージャー (柏崎刈羽原子力発電所駐在) 兼 原子力人財育成センター (人財開発プロジェクト担当)	原子力人財育成センター 福島第二人財育成グループマネージャー 兼 原子力人財育成センター (人財開発プロジェクト担当)	まつざわ やすひろ 松澤 泰弘
2022.7.1	原子力人財育成センター 保全・技術育成グループマネージャー (柏崎刈羽原子力発電所駐在)	原子力人財育成センター 保全・技術育成グループマネージャー	おおいし かずてる 大石 和輝
2022.7.1	原子力人財育成センター 福島第二人財育成グループマネージャー 兼 運転育成グループ (原子力技能指導職)	原子力人財育成センター 運転育成グループマネージャー (柏崎刈羽原子力発電所駐在)	たけい としのり 武井 俊憲
2022.7.1	福島第二原子力発電所 保全・工事事務グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 土木 (第二) グループマネージャー 兼 土木 (第一) グループ 兼 土木 (第三) グループ	いとう のりとし 伊藤 統俊
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所	原子力設備管理部設備計画グループマネージャー 兼 廃止措置室	だいとう まさき 大東 正樹
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 (環境担当) 兼 原子力安全センター放射線安全部 環境グループマネージャー 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所リスクコミュニケーター	柏崎刈羽原子力発電所 (環境担当) 兼 原子力安全センター放射線安全部 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所リスクコミュニケーター	うえだ しゅんのすけ 上田 俊之介
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所総務部	ビジネスソリューション・カンパニー オフィスサービスセンター 厚生グループ第一チームリーダー	わたなべ まさみ 渡辺 正美
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所総務部総務グループマネージャー	経営企画ユニットグループ事業管理室 株式会社当間高原リゾート出向	ひろい ともあき 廣井 智朗
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所総務部資材グループマネージャー	経営企画ユニットグループ事業管理室 調達総括グループ企画・業務チームリーダー 兼 契約支援チームリーダー	むらやま まさのぶ 村山 雅信
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所広報部 (地域担当)	柏崎刈羽原子力発電所広報部 地域共生総括グループマネージャー	やまだ かずし 山田 和司
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所広報部報道グループマネージャー	新潟本部渉外・広報部報道グループマネージャー	しらき こういちろう 白木 孝一郎
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所広報部 地域共生総括グループマネージャー	立地地域部立地企画グループ企画チームリーダー	とりがい やすき 鳥飼 泰樹
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所広報部 サービスホールグループマネージャー	東京電力エナジーパートナー株式会社 販売本部法人営業部広域事業グループ 広域第一チームリーダー	ふかがわ とおる 深川 徹
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所セキュリティ管理部 (防護設備プロジェクト設計・工事担当)	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 土木 (第一) グループマネージャー 兼 土木 (第二) グループ 兼 セキュリティ管理部	ゆもと たかゆき 湯本 隆行
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター 安全総括部 (防災担当)	柏崎刈羽原子力発電所第一運転管理部 作業管理グループ 兼 第一運転管理部当直長	おだ しゅうじ 小田 修司
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター 安全総括部安全総括グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター 安全総括部安全総括グループ 安全総括チームリーダー 兼 第二運転管理部運転評価グループ 定事検討チームリーダー 兼 第一運転管理部運転評価グループ	もちだ つよし 持田 剛

日付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター 放射線安全部放射線安全グループマネージャー 兼 セキュリティ管理部核セキュリティ運営管理グループ	原子力安全・統括部原子力保健安全センターグループ 線量・総括調査チームリーダー	いづか まさと 飯塚 正人
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター 放射線安全部化学管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター 放射線安全部環境グループマネージャー	やない けんじ 箭内 健司
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 兼 技術戦略ユニット土木・建築統括室	原子力設備管理部 兼 安全施設建設センター	つちだ たけし 土田 剛
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 タービン（1・4号）グループマネージャー 兼 タービン（2・3号）グループマネージャー 兼 第二保全部タービングループ	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 原子炉（2・3号）グループ 非常用機器チームリーダー 兼 原子炉（1・4号）グループ 兼 第二保全部原子炉グループ	くりた たかし 栗田 隆
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 電気機器（1・4号）グループマネージャー 兼 電気機器（2・3号）グループマネージャー 兼 第二保全部電気機器グループ	原子力運営管理部防災安全グループ 安全管理・総括チームリーダー 兼 核セキュリティ管理グループ	はせがわ たく 長谷川 拓
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 システムエンジニアリンググループマネージャー 兼 第二保全部 システムエンジニアリンググループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 コンフィグレーションマネジメントグループマネージャー	あぜがみ たかじ 畔上 孝二
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 土木（第一）グループマネージャー 兼 土木（第二）グループ	青森事業本部東通原子力建設所 土木設備グループ土木設備チームリーダー 兼 港湾・土木調査グループ 兼 青森事業本部東通建設プロジェクト統括室	みずかみ けいじ 水上 啓治
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第一保全部 土木（第二）グループマネージャー 兼 土木（第一）グループ 兼 土木（第三）グループ	原子力設備管理部 兼 安全施設建設センター	かがわ ともや 香川 智哉
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部（運転管理担当） 兼 第一運転管理部	柏崎刈羽原子力発電所第二運転管理部当直長	こいけ まさかず 小池 正和
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二運転管理部 発電グループマネージャー 兼 作業管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所第二運転管理部当直長	じょうこう けいご 上甲 圭悟
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部（保全担当） 兼 第一保全部（保全担当） 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所リスクコミュニケーター	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部タービングループ 兼 原子炉グループ 兼 第一保全部原子炉（1・4号）グループ 兼 第一保全部原子炉（2・3号）グループ	ほりい とみお 堀井 富男
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 保全総括グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 モバイル設備管理グループマネージャー	こばやし あきら 小林 聡
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部タービングループ 兼 原子炉グループ 兼 第一保全部原子炉（1・4号）グループ 兼 第一保全部原子炉（2・3号）グループ	原子力設備管理部原子力耐震技術センター 機器耐震技術グループ総合運営チームリーダー	こんどう ゆういち 近藤 裕一
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 タービングループマネージャー 兼 環境施設プロジェクトグループマネージャー 兼 原子炉グループ 兼 環境施設グループ 兼 第一保全部タービン（1・4号）グループ 兼 第一保全部タービン（2・3号）グループ	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 タービングループマネージャー 兼 原子炉グループ 兼 第一保全部タービン（1・4号）グループ 兼 第一保全部タービン（2・3号）グループ	もんま けんすけ 門間 健介

日付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 電気機器グループマネージャー 兼 第一保全部電気機器（1・4号）グループ 兼 第一保全部電気機器（2・3号）グループ	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター 安全総括部安全総括グループマネージャー	みなよし のりふみ 皆吉 徳文
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 電子通信グループマネージャー 兼 原子力安全センター安全総括部	福島本部復興調整部 公益社団法人福島相双復興推進機構出向	ひらまつ しんじ 平松 真二
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 モバイル設備管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 モバイル設備管理グループ新規制火防設備チームリーダー	おがわ ちあき 小川 千秋
2022.7.1	柏崎刈羽原子力発電所第二保全部 コンフィグレーションマネジメントグループマネージャー	原子力設備管理部設計エンジニアリンググループ 配管設計・耐震設計チームリーダー 兼 設備技術グループ	おおいずみ あつし 大泉 篤史
2022.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 内部監査室（保安監理担当） 兼 内部監査室（リスク担当）	柏崎刈羽原子力発電所（安全担当） 兼 原子力安全センター安全総括部 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所リスクコミュニケーター	きぐち ともひろ 木口 知弘
2022.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 資材調達センター送電設備調達グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所総務部資材グループマネージャー	まつの あきら 松野 彰
2022.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 東京総支社業務総括グループマネージャー 兼 東京電力ホールディングス株式会社 ビジネスソリューション・カンパニー オフィスサービスセンター ヒューマンサポート第一グループ	柏崎刈羽原子力発電所総務部総務グループマネージャー	しぶや のりお 澁谷 哲央
2022.7.1	東京電力エナジーパートナー株式会社 オペレーション本部サービスソリューション事業部 東京カスタマーセンター（サービス品質担当） 兼 マネジメント推進センター 広域マネジメント第一グループ 兼 人財戦略・育成推進室労務人事グループ	柏崎刈羽原子力発電所広報部 サービスホールグループマネージャー	くぬぎ みか 功刀 三佳

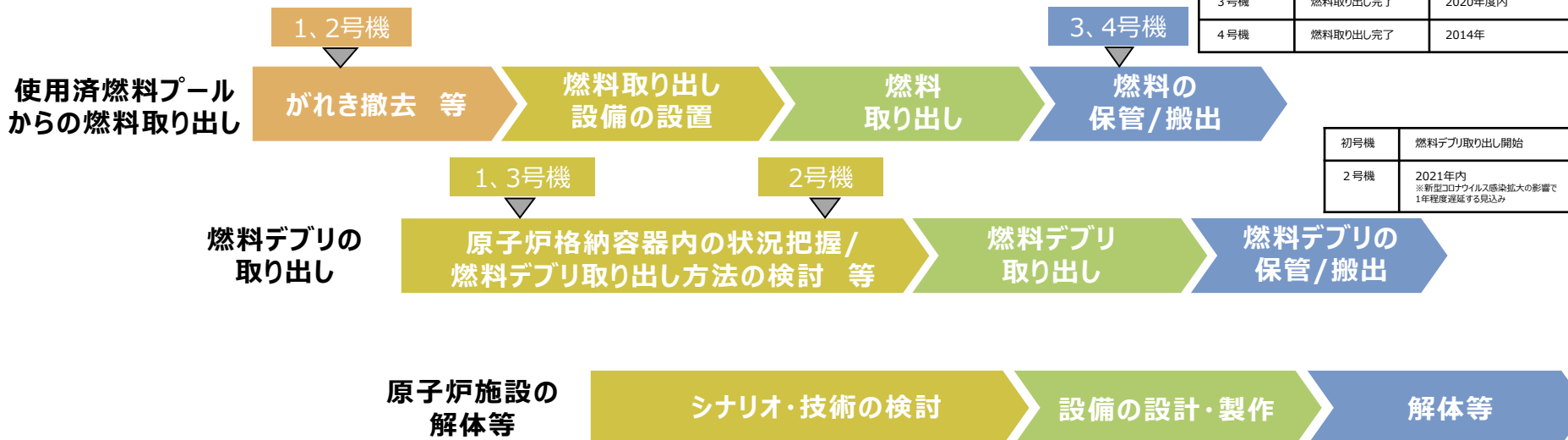
以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

「廃炉」の主な作業項目と作業ステップ

使用済燃料プールからの燃料取り出しは、2014年12月に4号機が完了し、2021年2月28日に3号機が完了しました。引き続き、1、2号機の燃料取り出し、1～3号機燃料デブリ(注1)取り出しの開始に向け順次作業を進めています。

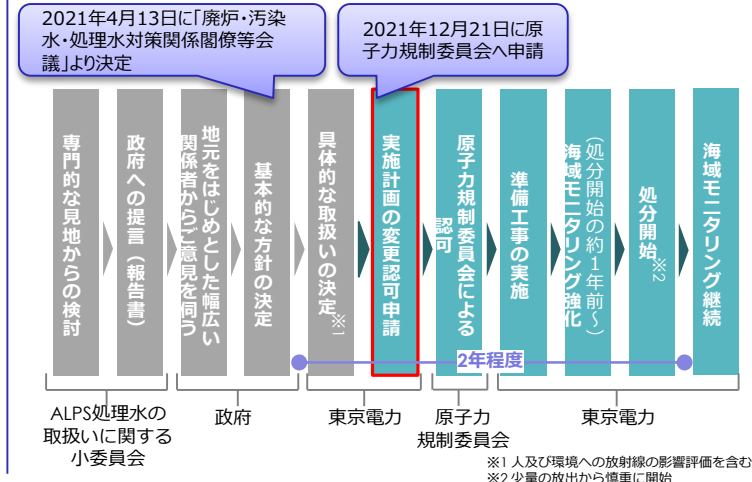
(注1)事故により溶け落ちた燃料



処理水対策

多核種除去設備等処理水の処分について

処理水の海洋放出に当たっては、安全に関する基準等を遵守し、人及び周辺環境、農林水産物の安全を確保してまいります。また、風評影響を最大限抑制するべく、モニタリングのさらなる強化や第三者による客観性・透明性の確保、IAEAによる安全性確認などに取り組むとともに、正確な情報を透明性高く、継続的に発信してまいります。



汚染水対策 ～3つの取組～

(1) 3つの基本方針に従った汚染水対策の推進に関する取組

①汚染源を「取り除く」 ②汚染源に水を「近づけない」 ③汚染水を「漏らさない」

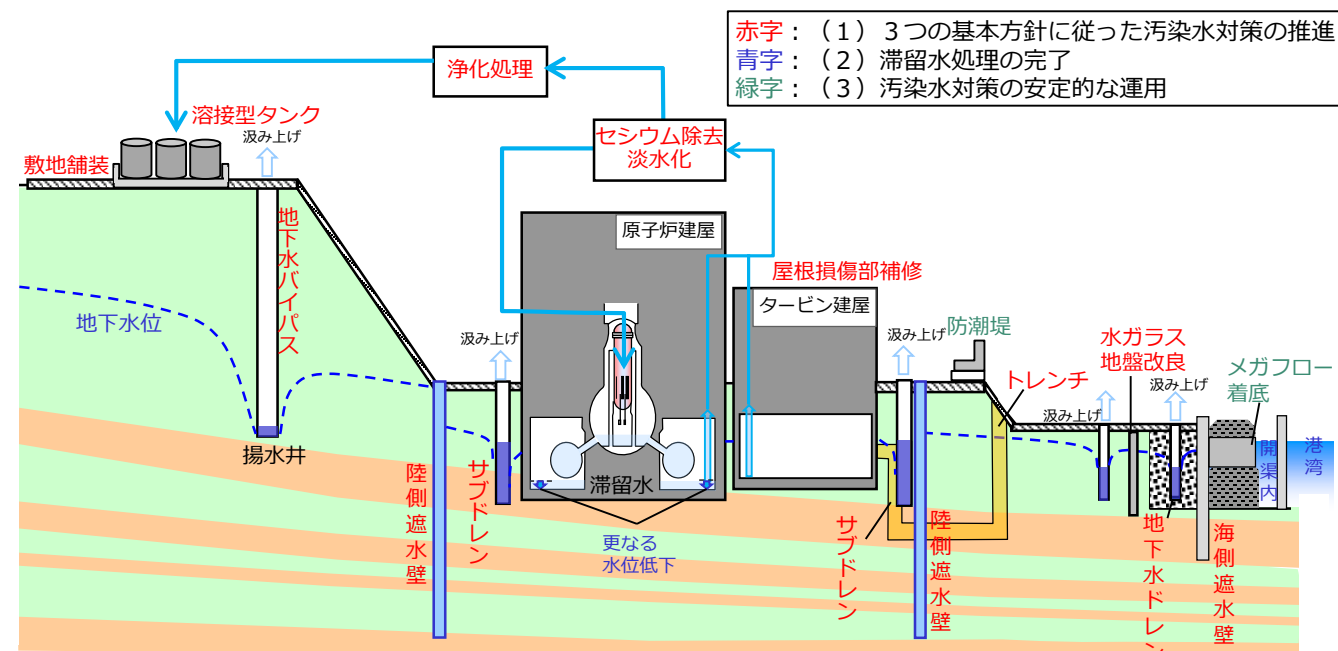
- 多核種除去設備以外で処理したストロンチウム処理水は、多核種除去設備での処理を行い、溶接型タンクで保管しています。
- 陸側遮水壁、サブドレン等の重層的な汚染水対策により、建屋周辺の地下水位を低位で安定的に管理しています。また、建屋屋根の損傷部の補修や構内のフェーシング等により、降雨時の汚染水発生量の増加も抑制傾向となり、汚染水発生量は、対策前の約540m³/日（2014年5月）から約130m³/日（2021年度）まで低減しています。
- 汚染水発生量の更なる低減に向けて対策を進め、2025年内には100m³/日以下に抑制する計画です。

(2) 滞留水処理の完了に向けた取組

- 建屋滞留水水位を計画的に低下させるため、滞留水移送装置を迫設する工事を進めております。
- 2020年に1～3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋を除く建屋内滞留水処理が完了しました。
- 今後、原子炉建屋については2022年度～2024年度に滞留水の量を2020年末の半分程度に低減させる計画です。
- プロセス主建屋、高温焼却炉建屋の地下階に、震災直後の汚染水対策の一環として設置したゼオライト土壌等について、線量低減策及び安定化に向けた検討を進めています。

(3) 汚染水対策の安定的な運用に向けた取組

- 津波対策として、建屋開口部の閉止対策を実施しました。現在、防潮堤設置の工事を進めています。また、豪雨対策として、土嚢設置による直接的な建屋への流入を抑制するとともに、排水路強化等を計画的に実施していきます。



取組の状況

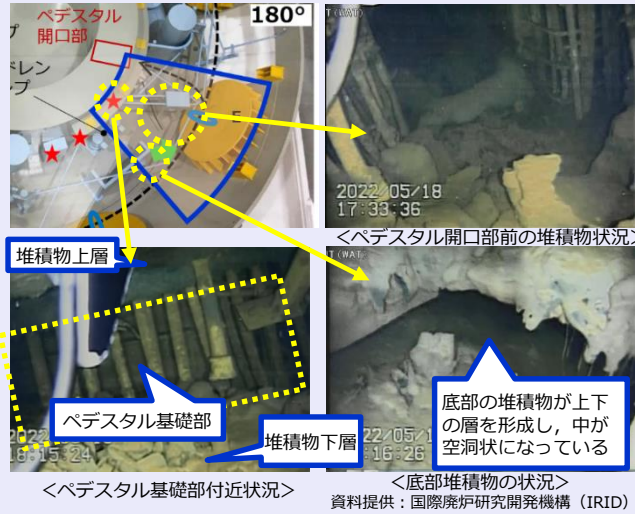
- ◆ 1～3号機の原子炉・格納容器の温度は、この1か月安定的に推移しています。また、原子炉建屋からの放射性物質の放出量等については有意な変動がなく、総合的に冷温停止状態を維持していると判断しています。

1号機PCV内部調査の再開

1号機の原子炉格納容器（PCV）内部調査は、3月16日に発生した福島県沖地震以降、中断していましたが、必要なPCV水位を確保するとともに、カメラ映像不良に対する対策を実施した上で、5月17日よりペDESTAL外周部の詳細目視調査を再開しました。

今回の調査では、塊状の堆積物や層状の堆積物を確認するなど、堆積物の広がり状況や、ペDESTAL内の鉄筋の露出等が確認できました。また、今後の調査において実施予定の「堆積物デブリ検知」の調査範囲の絞り込みを目的に、中性子束計測を実施しました。

今回確認された状況について、評価するとともに、次に実施する堆積物厚さの調査に向け準備を進めています。



IAEAがALPS処理水の安全性に関するレビュー報告書を公表

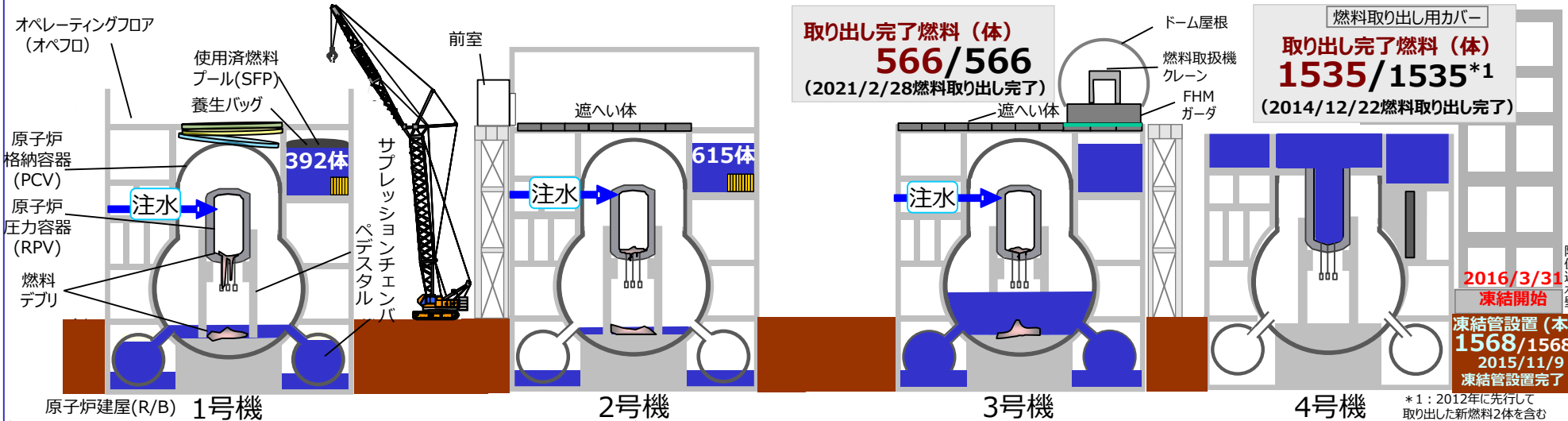
2月に行われた多核種除去設備等処理水（ALPS処理水）の安全性に関するIAEAのレビュー報告書が4月29日に公表されました。報告書では、安全性について、「設備の設計と運用手順の中での的確に予防措置が講じられていることが確認された」と評価されました。また、放射線影響評価については「包括的で詳細な分析が講じられており、人への放射線影響は日本の規制当局が定める水準より大幅に小さいことが確認された」と評価されました。

萩生田大臣・IAEAグロッシェ事務局長が会談

5月18日、萩生田経済産業大臣は、IAEA（国際原子力機関）のグロッシェ事務局長と会談を行いました。

会談では、ALPS処理水の安全性に関するレビューを含め、引き続き緊密に連携していくことを確認し、日本政府とIAEAとの協力の更なる強化について意見交換を行いました。

グロッシェ事務局長からは、IAEAがレビューを行うことにより、世界中の人々がALPS処理水は公衆の健康や環境に悪影響を与えないと確信を持つことができる旨、発言がありました。



2号機 PCV内部調査・燃料デブリ試験的取り出しの準備状況

隔離部屋内のX-6ペネの取手を収納するゴム部の損傷、隔離部屋の遮へい扉の動作不良について、原因究明を進め、その対策の検討を進めています。

その他、楢葉町モックアップ施設におけるロボットアーム等の性能試験において確認された改良が見込まれる点について、引き続き、調整を続けていきます。

多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリングの状況について

東京電力では、2022年3月にALPS処理水放出の実施主体として、海域モニタリングを強化すべく、測定点・測定対象を追加、頻度を増加した計画を策定しました。

本海域モニタリング計画に基づき、平常時のトリチウムや海洋生物の状況を把握するため、4月20日より試料採取を開始しました。

発電所近傍、沿岸において、トリチウム、セシウム137とも、過去1年間の分析値から変化はなく、新たな測定点についても、日本全国の海水の変動範囲内の低い濃度で推移しています。

引き続き、モニタリング結果については、わかりやすく、丁寧にお示ししていきます。

1/2号機非常用ガス処理系配管切断作業再開

3月にワイヤーソーが配管へ噛み込む事象が発生したため切断作業を中断しましたが、対策を行い、噛み込みなく切断できることを確認したため作業を再開しました。

5月23日に16箇所中1箇所の配管切断が完了しています。

ダスト飛散防止対策を行ったうえで、慎重に切断作業を行っており、ダストモニタの指示値は管理基準値未満であることを確認しています。

引き続き、ダスト濃度を監視しながら、安全を最優先で慎重に作業を進めていきます。



<配管切断作業の様子>

2号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに向け建屋内外作業ともに計画通り進捗

建屋内では、線量が最も高い原子炉ウェル上及び原子炉建屋北東側の遮蔽設置が5月12日に完了しました。線量測定の結果、遮蔽体を設置した原子炉ウェル上部では遮蔽前の88mSv/hに対して、遮蔽後は9mSv/hとなり、その他の測定点においても計画通りの低減効果を確認しました。

また、6月より既設燃料取扱機を原子炉建屋北側に移動する計画です。実機を想定したモックアップにて移動が可能であることを確認しています。

建屋外では、5月9日より構台基礎設置に向けて建屋南側ヤードの基礎設置範囲を掘削する作業を6月上旬の完了を目標に実施しています。

主な取組の配置図



提供：日本スペースイメージング（株）2021.4.8撮影
Product(C)[2021] DigitalGlobe, Inc., a Maxar company.